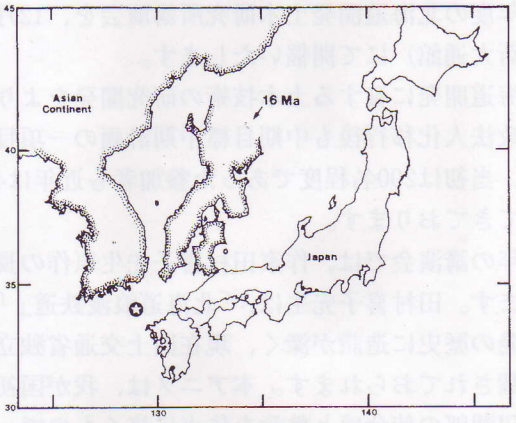
サロン

日本を動かす研究

私の学生時代の専門は生層序学（地質学の１分野である）であった。化石から地層の年代を推定する学問で、古地磁気学の研究者と連携して「日本を動かす研究」を行っていた。「日本を動かす」とは、日本社会に大きな変革を与えるという意味ではなく、文字通り、日本列島を動かし、過去の日本列島の位置を復元する研究である（右下図参照）。

実際の作業は、野外で採取した岩石を室内処理し、顕微鏡を覗いて化石の名前を決める、という地味な作業の繰り返しであった（もちろん研究とはそういうものである）。今でこそＫ研究室のＩ室長に次ぐ体重を誇っているが、当時の私は今より15キロ以上も軽く、別人のように軽快に山野を跋渉していた。



1600万年(16Ma)前の西南日本
(林田＆伊東(1984)より)

１回の調査で何百という岩石試料を採取する。この試料を過酸化水素溶液で溶かして化石を抽出し、薄片を作る。処理のピーク時には大学に泊まり込み、毎日毎夜、多数のビーカーを６時間おきに洗っていた。丁寧に洗わないと前の化石が混じり、データの信頼性がなくなり研究がパーになるため、いいかげんな洗い方は許されない。結果として大学で毎日、皿洗いの技術を磨いていたのである。

せっかく処理しても苦労が報われないこともある。むしろその方が多い。化石が入っていないと年代が決まらないのである。化石が入っていた場合も大変である。化石の名前を決めるため１日中顕微鏡を覗くのであるが、覗きすぎると船酔いに似た症状になる。

当時は、なんでこんなことをしているのかと思ったが、今となっては懐しい思い出である。

日本を動かす研究が家内に評価されている様子はないが、皿洗いの技術は大変評価されている（研究とはそういうものである）。しかし、最近、我が家に自動食器洗い器が導入され、私の地位が脅かされている。
〈キーワード：生層序学、皿洗い、家内〉

参考文献：１．A. Hayashida & Y. Ito: Paleoposition of Southwest Japan at 16 Ma, implication from paleomagnetism of the Miocene Ichishi Group. Earth and Planetary Science Letters, 1984.
２．ホシ○○電機㈱：ホシ○○家庭用食器洗浄機取扱説明書

（地質研究室長　伊東 佳彦 ）

＊　　＊　　＊　　＊

表紙右上記号　ISSN　1346-6747の説明

ISSN は International Standard Serial Number（国際標準逐次刊行物番号）の略で、逐次刊行物に付与される国際的なコード番号で、ISSD（国際逐次刊行物データシステム）という組織のもとで逐次刊行物の組織や検索に利用されます。

この番号は国立国会図書館 ISSD 日本センターから割り当てられたものです。